

専門職員の配置で歴史と文化財の活用を

問 去る5月12日に湯沢町公民館で四市町村の文化財専門職員による「文化財活用と観光振興について」の勉強会が県職員を交えて行われました。その勉強会で新潟県における湯沢の歴史文化の重要性と、その保護と活用を進める為に専門職員を配置し広域での協力体制の強化を計ることが重要と感じました。

答 歴史文化を守り後世に伝える為、またこれからの地域密着型の観光振興に活かす為にも文化財専門職員の配置を検討して戴きたいと思いますが、町長の考えをお聞かせ下さい。



湯元百番観音登口

答 雇用の形態等を考えた中で、検討をしてみたいと思います。

問 十日町市では平成に入ってから60件以上の文化財を市の保護指定にしていますが、湯沢町はわずか4件の指定のみで最近10年間は指定がないがどうか。

答 保護審議委員会からの情報を受けながら検討、対応をしていきたいと思っています。

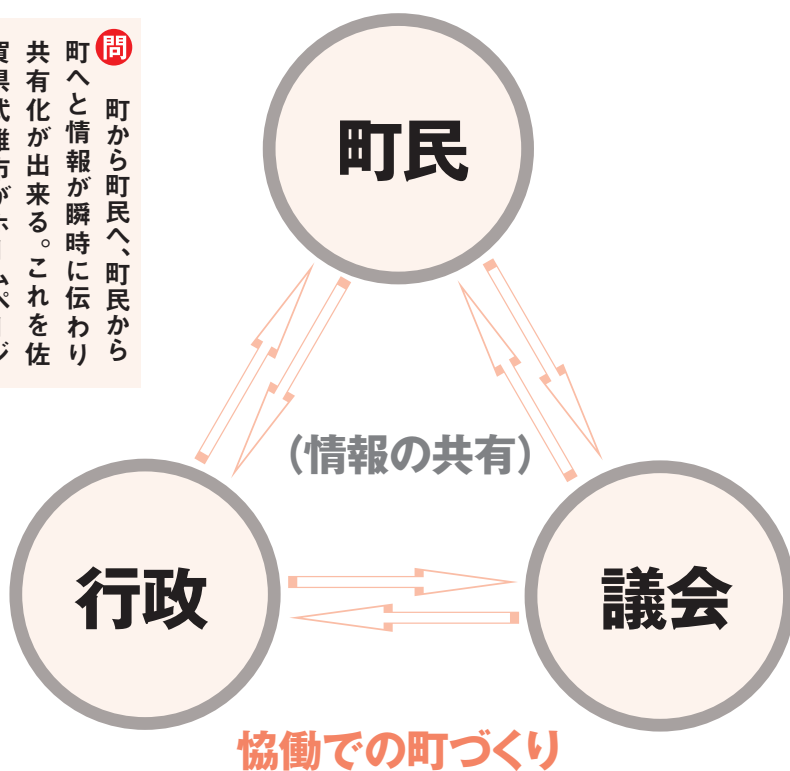
新たなIT戦略で協働での町づくりを

問 インターネットでの通信も、最初のころは情報伝達が一方的になりがちだったのが、ブログ、ツイッター、フェイスブックといろんなシステムの開発と、パソコンに加えスマートフォンやタブレット端末の普及により、双方向で情報のやり取りが瞬時に簡単に出来るようになりました。こういった知識を持つ町民に新たなIT戦略を検討していただき、それを行政全般で取り入れ実践することにより、町民と行政が一体となった「協働での町づくり」を更に進めていただきたいと思いますが、町長の考えをお聞かせ下さい。

答 町としても防災や観光を含めた町づくりにどう活かせるか十分検討していく必要があると感じている。

問 町から町民へ、町民から町へと情報が瞬時に伝わり共有化が出来る。これを佐賀県武雄市がホームページをフェイスブックに変えて実行し、町づくりに活かしている。是非こういった知識を持つ町民に新たなIT戦略を練っていただき、町づくりに活かしていただきたい。

答 私の苦手な分野ですが、勉強して取り組んでいきたいと思っています。



たか はし あや お
高橋綾夫